

平成27年度 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)事業等進捗状況

【評価】 5:おおいに達成できた 4:達成できた 3:概ね達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった

番号	戦略のテーマ	事業の名称	事業の概要	予算額(円)	事業費決算見込額(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)	総合戦略の重点項目及びその数値目標との関係	事業の期間	担当課	H27年度実施状況	KPI達成状況	担当課の評価内容	5段階評価(5~1)
1		琴浦町総合戦略策定事業	人口減少対策のため、今後5カ年の目標や施策の基本的方向、具体的施策をまとめた総合戦略を策定する。	6,000,000	2,967,582			H27.4~H27.10	企画情報課	平成27年4月に琴浦町地方創生推進会議(委員25名)を設置、計7回推進会議を開催。 町内2,500人を対象とした町民アンケートや、各地区、町PTA連合協議会、町保育園保護者会連合会との意見交換会の開催、意見箱の設置等により町民からの意見を募り、総合戦略への反映を図った。 平成27年10月22日に「琴浦町人口ビジョン」及び「琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。	10月末までに総合戦略策定	アンケートの回収率が低く(35.8%)、意見箱への意見や意見交換会等への参加人数も少なかった。 戦略やPDCAサイクルを進めていく中で、町民の関心を引く周知方法など検討が必要。 県内市町村で目標としていた10月末までの総合戦略策定は、達成できた。	4
2	育む	第二成人式事業	Uターンの促進を図るとともに、町の魅力を出身者にPRしてもらうため、25歳を対象とした第二成人式を開催する。	500,000	215,300	対象人数の3分の2以上の出席	重点項目:移住・定住希望者のIJUターン支援 コウラ体験等による移住・定住促進 -その数値目標 H32までに25-34歳の転入人口20%増 (H16-25平均:142人/年 → H32:170人/年)	H27.5~H28.2	企画情報課	主催 琴浦成人+5式実行委員会 日時 平成27年8月15日(土) 16:00~19:40 場所 ジャコム中央トピア店 スイングパレス 参加者 29名【町内:17名、町外12名】 内容 (対象235名 参加率12%) (1)講演「二十世紀☆梨男」 (2)実行委員による町PR(ふるさと納税等) (3)青年団の活動報告、PR (4)参加者の話(谷口夏美、松田泰裕) (5)ビンゴ大会(琴浦町特産品の景品) (6)町での思い出(TCCの動画放映 成人式、運動会、文化祭) 参加費 2,000円 その他 アンケートの実施、移住定住パンフレット等の配布	目標人数 235名 × 2/3 = 157名 目標達成率 29名 ÷ 157名 = 18%	達成率が2割以下と全く達成できなかった。通常の成人式の参加状況を勘案すると、開催時期等を見直すことにより参加人数を増加させることは可能と考える。次回以降は、より参加しやすい日程や内容の設定、事前周知に努め、参加者同士が互いに誘い合って参加できる体制づくりに努める。	1
3	根づく	ことうら体験事業	琴浦町への移住定住を促進するため、移住希望者を対象とした体験ツアーと就農希望者を対象とした就農体験ツアーを実施する。	2,000,000	446,463	・移住定住ツアー:参加者8名 ・就農体験ツアー:参加者4名	重点項目:移住・定住希望者のIJUターン支援 コウラ体験等による移住・定住促進 -その数値目標 移住定住ツアー H32までのツアー参加者の移住定住10名 新規就農ツアー H32までのツアー参加者の新規就農及び就農研修5名	H27.4~H28.3	企画情報課 商工観光課 農林水産課	日時 平成27年10月24日(土)~25日(日) 場所 琴浦町内及び平岩記念会館(宿泊) 参加者 9名(移住コース6名、就農コース3名) 内容 24日(土) ・JR倉吉駅集合 ・琴浦町内主要箇所巡り ・町内のお店で夕食等の買出し ・夕食交流会(平岩記念会館) ・宿泊(平岩記念会館) 25日(日) 移住コース ・空き家等町内巡り → 昼食 就農コース ・就農者体験談、就農体験 → 昼食	目標達成率 ・移住コース 6名 ÷ 8名 = 75% ・就農コース 3名 ÷ 4名 = 75%	達成率は両コースとも75%であり、あまり達成できなかった。しかしながら就農コースへの参加をきっかけとして、その後、鳥取県での就農者研修に参加される方がいるなど新規就農・移住へ繋がる動きも見られ、一定の成果があったと考える。	3

番号	戦略のテーマ	事業の名称	事業の概要	予算額 (円)	事業費 決算見込額 (円)	本事業における 重要業績評価指 標 (KPI)	総合戦略の重点項目 及びその数値目標との関係	事業の期 間	担当課	H27年度実施状況	KPI達成状況	担当課の評価内容	5段階 評価 (5~1)
4	創る	ことうら商品販 路開拓事業	地域経済の活性化 及び町のPRを図る ため、東京に専門 職員を派遣し関東 圏での販路拡大を 行う。	6,800,000	6,800,000	商談会等参加 10回以上 具体的に相談 に入った件数 1件	重点項目：地元産業の 発展と新たな展開 琴浦ブランド化の推進と 販路拡大 ・その数値目標 H32までの商談会等参 加50回 H32までの契約5件	H27.4~ H28.3	商工観光課	H28.2までの実施状況 1 商談会等参加実績 64回 2 契約実績(新規カテゴリ) 2件/年間(成城石井:アイスクリーム/雪和商事:ドライ菓子) 3 活動内容 (1)バイヤー等を対象とした販路開拓 ①月7回のペースで商談会等を実施し2件の新規契約を 獲得 主な商談相手:成城石井 パルシステム 国分 オ ー ケー 雪和商事 7/22.23 (株)日本アクセス山陰フェア (2)消費者を対象とした販路開拓及び観光PR ①千葉県浦安市「じゃない方のことうら」観光PR ②「ももてなし」ぼろたん販売・試食支援 8/18.19 アグリフードEXPO 9/5 千葉県浦安祭り 10/16 「ももてなし」ぼろたん販売対応 (3)地元業者を対象とした販路開拓 ①再配送の問題等、地元業者が打って出るための課題 の抽出 ②物流に関する調査研究を目的として米久関係者と協 議 ③特産品のPR資材はアグリフードEXPO出展時に製作 活用を行った。 9/13 米久関係者と販路拡大協議	目標達成率 ・商談会等参加 64回÷10回= 640% ・新規契約件数 2件÷1件= 200%	関東圏への販路開拓の 初年度で手探り状態の 中でも、精力的に商談 会等へ参加し、新規契 約も2件獲得し、概ね達 成できたと考える。 ただ、バイヤーを町内 に招聘し地元業者と情 報交換の場の設定、琴 浦特産品全体の販路開 拓、物流課題への対策 案の検討など、今後の 課題も見えてきた。	5
5	創る	海外への販路 開拓事業	町特産品を海外 (東アジア)に対し 販路開拓するた め、海外企業・団 体とのマッチング 支援を行う。	500,000	500,000	商談会等参加3 団体 具体的に相談 に入った件数 1件	重点項目：地元産業の 発展と新たな展開 琴浦ブランド化の推進と 販路拡大 ・その数値目標 H32までの商談会参加 15回 H32までの契約3件	H27.4~ H28.3	商工観光課	1 (有)あぶい蒲鉾 ①商談会名 FOOD TAIPEI(台湾) ②日時 H27.6.24- 27 ③補助額 100千円 2 宝製菓(株) ①商談会名 FOOD TAIPEI(台湾) ②日時 H27.6.24- 27 ③補助額 100千円 3 大谷酒造(株) ①商談会名 ソウルサケフェスティバル ②日時 H 28.3.26-27 ③補助予定額 43千円	目標達成率 1 商談会等参加 3団体÷3団体 =100% 2 具体的に相談 に入った件数 0件÷1件=0%	商談会等への参加3団 体あったが具体的な契 約等へは至っておら ず、あまり達成できな かったと考える。 これまで海外への販路 開拓に消極的だった事 業者に対するインセン ティブはあったと考えて おり、今後も支援に努 めたい。	2

番号	戦略のテーマ	事業の名称	事業の概要	予算額 (円)	事業費 決算見込額 (円)	本事業における 重要業績評価指 標 (KPI)	総合戦略の重点項目 及びその数値目標との関係	事業の期 間	担当課	H27年度実施状況	KPI達成状況	担当課の評価内容	5段階 評価 (5~1)
6	創る	琴浦町起業支援事業	町産業の振興及び活性化を図るとともに、移住定住を促進するため、町内で起業する事業者に対し支援を行う。	3,000,000	2,000,000	新規起業3件	重点項目：魅力あるしごと の創出 起業・創業の拡大による 雇用創出 ・その数値目標 H32までの新規起業9件	H27.4~ H28.3	商工観光課	1 福本悠氏 ①内容 タンク販売(サーファー用) ②補助予定額 1,000千円 2 中村恭子氏 ①内容 デザイン、イラスト、撮影、企画 他 ②補助予定 額 1,000千円	目標達成率 1 新規起業 2件÷3件=67% ※1件は申請取り 下げの可能性有	新規起業2件であり、目 標を達成することはでき なかった。 町商工会等と連携し、 起業を行う場合のイン センティブとしての役割 を果たすことはできた と思う。 ただ、今後は審査会の 廃止や補助金額の減額 などの検討を行い、より 幅広く使いやすい補助 金への変更が必要だと 感じる。	3
7	輝く	観光拠点等への外国語標記看板設置事業(交付金対象外:単町事業)	インバウンド観光を促進するため、物産館ことうらなどに外国語標記の看板を設置する。	6,800,000	3,400,000	H27の観光入 込客3%増 735.1千人	重点項目：豊かな自然と 文化を生かした観光振 興 広域観光の推進 インバウンドの推進によ る観光振興 ・その数値目標 H32の観光入込客30% 増 (H26:713.7千人⇒H32: 927.8千人)	H27.4~ H28.3	商工観光課	1 光の鍍絵看板設置委託業務 ①場所:光の鍍絵 ②設置日:H27.10.22 ③業者:(有)た かま芸 ④金額:991千円 2 白鳳の郷周辺観光案内看板設置業務 ①場所:方見神社他 ②設置日:H27.9.23 ③業者:(株) ウェアプラン・プロモーション ④金額:1,070千円 3 津田侯殿様街道観光看板設置業務 ①場所:米村会長宅他 ②設置日:H27.9.18 ③業者:ギョ ンアート ④金額:241千円 4 斎尾庵寺跡看板設置委託業務 ①場所:斎尾庵寺跡 ②設置日:H27.2.18 ③業者:(有) たかま芸 ④金額:540千円 5 新大門橋船上山誘導看板新設業務 ①場所:新大門橋 ②設置予定日:H28.3 ③業者:(株)井 木組 ④金額:70千円 6 東伯中央地区広域農道船上山既設誘導看板張替え業 務 ①場所:東伯中央地区広域農道 ②設置予定日:H28.3 ③業者:(株)井木組 ④金額:70千円	目標達成率 1 観光入込客 678.7千人÷ 735.1千人=92% ※8%の減少	目標の観光入込客を達 成できず前年比92%と なった。 ただ、観光ビジョンの策 定における3箇年計画 の最終年として、海側 観光地の必要な看板設 置は一先終了となっ た。	1

番号	戦略のテーマ	事業の名称	事業の概要	予算額(円)	事業費 決算見込額 (円)	本事業における 重要業績評価指 標(KPI)	総合戦略の重点項目 及びその数値目標との関係	事業の期 間	担当課	H27年度実施状況	KPI達成状況	担当課の評価内容	5段階 評価 (5~1)
8	根づく	「いいね！こ うら」発見事業	琴浦町の地域資源 を題材として小中 学生や町内在住者 等を対象に写真コ ンテストを開催し、 地域愛をはぐくむ とともに、それらを パンフレット等にし てUターン促進の ツールとする。	300,000	114,631	応募点数130点 移住定住相談 件数150人	重点項目：移住・定住希 望者のIJUターン支援 コトウラ体験等による移 住・定住促進 「ふるさと」に対する誇り の醸成	H27.4~ H28.3	企画情報課	主 催 琴浦町 募集期間 7月~11月末 テーマ 「私だけが知っている琴浦町の好きなトコロ」 みんなに知ってほしい穴場スポットや、個人 的に 好きな風景・人物など 部 門 ①町内小・中学生 ②町内一般 ③町外在住 者 応募作品 プリント作品：キャビネ(120×165ミリ)~ワイド4 切 (254×365ミリ) デジタル作品：作品サイズは3MBまで ※過去に授賞履歴の無い作品であること。 ※合成写真不可、カラー・白黒は問わ ない。 参加費 無料 その他 ・応募作品の使用権は、琴浦町に帰属。 ・応募作品は、町内の公共施設で展示会を実 施。 ・授賞者には、授賞式にて記念品を贈呈。	目標達成率 ・応募点数 79点÷130点= 60% ・移住定住相談件 数 154人÷150人 =102%	応募点数の目標達成 率は60%であり、テー マ・周知方法・募集方法 を吟味して次年度に活 かすべきだと感じた。7 ~11月が募集期間で あったので、もう少し長 くして、四季の琴浦の写 真を募集するべきで あった。 最優秀賞に選ばれた 作品は、知る人ぞ知る スポットでの写真であ り、町の新しい魅力を発 見するきっかけになっ たと言える。 移住定住相談件数は 空家の相談が多く150 人を超えた。「写真を見 て琴浦に興味が出た」 という意見が出てくるよ う引き続き力を入れた い。	2
9	根づく	新婚家庭支援 事業	琴浦町への定住促 進及び少子化対策 として、結婚3年以 内の夫婦に対し3 年間家賃助成を行 うとともに、琴浦町 への定住促進施策 に関するパンフ レットを作成しPRを 行う。	3,000,000	540,000	事業実施者9件	重点項目：移住・定住希 望者のIJUターン支援 空き家の活用や宅地にか かる移住・定住促進 ・その数値目標 事業終了後の定住30組	H27.4~ H28.3	企画情報課	平成27年度は2月末時点で4組の世帯が申請。 @13,000円/月×5ヶ月=65,000円 @16,000円/月×4ヶ月=64,000円 @21,000円/月×3ヶ月=63,000円 @17,000円/月×3ヶ月=51,000円 4組8人のうち7名が町内からの転入、1名が町外からの転 入 パンフレットは12月に作製し、県内の結婚式場等へ配布中。	目標達成率 ・事業実施者 4組÷9組= 44%	パンフレットを作成す るのが遅かったため、 町外の方にPRができな かったが、若年層の町 外流出防止の効果は あったと考える。	2
10	育む	保育料減免事 業	子育て世帯の支援 を図り、町への移 住定住を促進する ため、第2子の保 育料を半額とす る。	11,000,000	11,860,200	合計特殊出生 率1.62人	重点項目：子どもを産み 育てやすいまちづくりの 実現 子育て世代の経済的支 援 ・その数値目標 合計特殊出生率10%増 (H25:1.59⇒H32:1.74)	H27.4~ H28.3	町民生活課	時 期：年間 内容：国の軽減対象とならない世帯の第2子の保育料を半 額 対象：104世帯	合計特殊出生率 を毎年0.02ポ イント、5年後に0.1ポ イントアップとして いる。 H26は出生数が 大幅に増え、合 計特殊出生率2.0 となったが、H27 はその反動もあ り、近年最低数と なった。 分析は難しいが、 出生数の減少は 歯止めがかかり つつある？	もれなく軽減適用を行っ た。 保育料を軽減すること により子育て世帯の経 済的負担を軽減した。	5

番号	戦略のテーマ	事業の名称	事業の概要	予算額(円)	事業費 決算見込額 (円)	本事業における 重要業績評価指 標(KPI)	総合戦略の重点項目 及びその数値目標との関係	事業の期 間	担当課	H27年度実施状況	KPI達成状況	担当課の評価内容	5段階 評価 (5~1)
11	創る	芝産地の活性化を目的とした生産機械開発事業	本町の主要農作物である芝の生産拡大を図るため、省力・高能率の収穫出荷機械を開発する。	4,000,000	3,937,980	プロトタイプの完成1件	重点項目:自然の恵みからなる農林水産業の振興 がんばる農家のチャレンジ支援 ・その数値目標 H32の芝作付面積10%増 (H26:297ha⇒H32:312ha)	H27.3~ H28.3	農林水産課	【芝結束機】 契約内容 芝結束機プロトタイプ1号機完成 契約先 有限会社 原田精工 事業主体 琴浦町、及び鳥取県産業振興機構、鳥取県芝生産組合 契約額 3,542,400円 【特許調査費用】 内 容 芝収穫機に関する特許調査 契約先 小田能美特許事務所 契約額 195,580円 【芝結束機2号機】 内容 結束機プロトタイプ2号機(1号機改良型) 事業主体 鳥取県芝生産組合 鳥取県産業振興機構 琴浦町 事業費 900千円の内 町負担分200,000円(一般財源) 2月19日 完成捕縄試験を実施 関係機関及びマスコミ等へ公開 参加者 約50名	プロトタイプが完成した段階であり、効果は確認できている。	プロトタイプ(試作機)の完成スペックをどの水準まで求めるかによって評価も変わってくるが、全く無かったものから可視化できる機械まで仕上がっており、イメージしやすい試作機が出来上がった。作業負担の軽減に繋がる機械が作れる可能性が生まれたことは、一定の評価ができる。	3
12	根づく	公共施設等総合管理計画策定事業(交付金対象外:単町事業)	人口減等を踏まえた既設ストックの管理を行うため、公共施設の長寿命化・廃止・統合などの長期管理計画を策定する。	2,000,000	1,728,000	計画策定完了	重点項目:移住・定住希望者のIJUターン支援 地域の拠点の整備促進 人口減を踏まえた既存ストックの適正な運営管理		総務課	公共施設管理計画を平成28年3月議会で報告し完成する見込。	計画策定完了	今後の人口減少社会及び財政的問題を考慮した公共施設管理計画を策定した。今後は計画の進捗に対し町全体での実施体制整備が必要となる。	4
13	根づく	自主防災組織結成及び機能強化事業	住民が地域防災の担い手となる環境を確保するため、自主防災組織結成への助成や防災機材整備を行うとともに、自主防災組織結成に向けた講演会を開催する。	1,000,000	0	自主防災組織率25%(5%増)	重点項目:健康寿命日本一を目指す 安心・安全に暮らせるまち 地域防災の担い手を育成する環境の整備 ・その数値目標 自主防災組織率30%増 (H26:20%⇒H32:50%)	H27.4~ H28.3	総務課	平成27年10月に各地区区長会を開催し、自主防災組織の結成について説明会を実施し、自主防災組織の必要性や組織化に向けての説明を行った。 説明会后結成組織:1団体(赤碓金屋) *各部落で結成に向けた協議を実施していただいている段階である。	自主防災組織率21%	組織率については1%のみとなり、KPI達成はできていない。ただし、各部落での結成に向けた取り組みをしていただいているところでもあり、部落内の協議が短期間で整わないことを考慮すると、来年度に多くの部落に結成していただくよう引き続き情報提供などの支援を行う必要がある。	1

番号	戦略のテーマ	事業の名称	事業の概要	予算額(円)	事業費 決算見込額 (円)	本事業における 重要業績評価指 標(KPI)	総合戦略の重点項目 及びその数値目標との関係	事業の期 間	担当課	H27年度実施状況	KPI達成状況	担当課の評価内容	5段階 評価 (5~1)
14	輝く	ワールドトレイルズカンファレンス事業	アジア及び世界からの誘客を促進し、観光・地域振興を図るため、平成27年度に鳥取県で開催されるアジアトレイルズカンファレンス及びウォーキングイベントの費用を負担する。	799,000	479,000	ウォーキング参加者1,000人	重点項目：豊かな自然と文化を生かした観光振興 広域観光の推進 インバウンドの推進による観光振興 ・その数値目標 H32の観光入込客30%増 (H26:713.7千人⇒H32:927.8千人)	H27.4~ H28.3	商工観光課	アジアトレイルズカンファレンス(ATC)鳥取大会 1 開催日 平成27年10月16日(金)~18日(日) 2 開催地 鳥取県中部 3 主催 ワールドトレイルズカンファレンス鳥取大会実行委員会 4 日程 10月16日(金) 基調講演・歓迎レセプション 他 10月17日(土) 湯梨浜町コース 10月18日(日) 倉吉市・三朝町コース 5 参加実績 基調講演 250人 ウォーキングフェスティバル 1,000人	目標達成率 1 ウォーキング参加者 1,000人÷ 1,000人=100% ①湯梨浜町コース:670人 ②倉吉市コース:150人 ③三朝町コース:180人	目標の参加人数1,000人を達成できた。琴浦町でのコース設定はなかったがエクスターション対応等によりPRすることができた。 来年度はワールドトレイルズカンファレンスとして琴浦町を舞台として、『WTC琴浦グルメめぐるウォーク』をH28.10.15(土)に開催予定。	3
15	輝く	名探偵コナンミステリーツアー事業	鳥取県内の各市町の観光地等を周遊させ観光振興を図るため、名探偵コナン鳥取ミステリーツアー実行委員会(事務局:鳥取県)が実施する名探偵コナンのミステリーツアーの費用を負担する。	300,000	300,000	H27の観光入込客3%増 735.1千人	基本目標: 誘客プロモーションの展開による観光振興 ・その数値目標 H32の観光入込客30%増 (H26:713.7千人⇒H32:927.8千人)	H27.4~ H28.3	商工観光課	1 主催 名探偵コナン鳥取ミステリーツアー実行委員会 2 実施期間 平成27年4月29日~11月23日(209日間) 3 イベント概要 参加者はJRで来県し、鳥取・倉吉・米子駅で捜査ガイドブックを受け取った後、チェックポイントの5箇所を捜査し、犯人や動機等の謎を解く体験型ツアー。 必ず訪問する「チェックポイント」のほか「スペシャルお楽しみポイント」等を設定。 4 参加者数 12,300人	目標達成率 1 観光入込客 678.7千人÷ 735.1千人=92% ※8%の減少	目標の観光入込客を達成できず前年比92%となった。本事業の「お楽しみポイント」に塩谷定好写真記念館が設定されたが期待したほどの効果はなかった模様。 来年度はインバウンド版として継続していくため、来県された方に食事を楽しんでもらうような仕掛け作りをしたいと考える。	2
16	創る	和牛ブランド推進事業	本町の畜産農家が育種した日本一の「白鵬85-3」「百合白清」の和牛ブランド地位向上と産地活性化を図るため、PRを行う。	300,000	648,000	和牛農家及び消費者に対するPR回数3回 優良血統牛頭数5頭	重点項目：地元産業の発展と新たな展開 琴浦ブランド化の推進と販路拡大 ・その数値目標 H32の優良血統牛頭数の増 (H26:3頭⇒H32:10頭)	H27.3~ H28.3	農林水産課	①町内学校給食において白鵬85-3の産子牛の肉を使用した肉じゃがの提供 ・学校給食提供日:7月14日(火)(町内小中学校) ②琴浦町をふるさととする白鵬85-3および食肉に関する食育授業の実施 ・日時 7月14日(火)4限- 聖郷小学校 ※食育授業のみ実施 7月10日(金)5限- 八橋小学校 ※食育授業のみ実施 7月16日(木)5限- 船上小学校 ※食育授業のみ実施 ・対象 小学校中学年 ・講師 全農ミートフーズ、(有)とうはく畜産(牛肉提供業者) ③琴浦町物産フェアINイオン日吉津店でのPR(ポスターの掲示) ・日時 8月15日(土)~16日(日) 9:00~19:00	目標数値 ・和牛農家及び消費者に対するPR4回 (うち小学校食育授業3回) ・優良血統牛頭数5頭(予定)	目標数値についてはおおむね達成することができた。ただ、PRについて、小学校での食育事業を中心に担当課の各種イベント等に留まっており、より幅広い消費者等に向けたPRができればなおよかった。 来年度以降も継続して優良血統牛の町内保留、また、産地化に向けた取組みに努める。	3